

# サシバエ防除はお早めに

県央家保だより

平成28年6月9日

家畜の吸血を行うサシバエは、ストレスや痛みの原因となるばかりでなく、牛白血病等を媒介する事が知られています。サシバエの雌1匹は800個も産卵するといわれています。サシバエ防除は卵、ウジ及びサナギの段階で行うのがポイントです。



## 対策 こまめな除糞

サシバエは家畜糞に産卵します。  
**赤丸部分**の殆ど動かない家畜糞は  
絶好の産卵場所です。  
このような敷料を早めに除去します



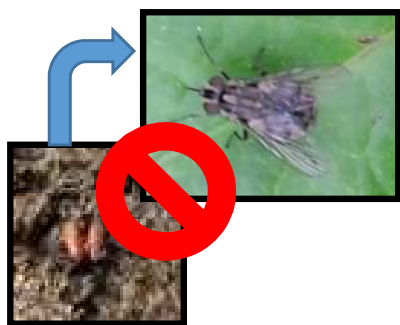
## 対策 堆肥の切り返し

サシバエは家畜糞に産卵します。  
堆肥舎では堆肥の表層に産卵します  
堆肥切り返して堆肥全体に発酵熱を伝え、  
ハエの卵を滅殺します。



## 対策 隅々まで掃除

畜舎や堆肥舎の壁や床に張り付いた堆肥等の中からも、ハエのサナギは見つかりました。  
隅々まで掃除をし、サシバエの繁殖場所を無くしましょう



## 対策 IGR(昆虫成長制御材)の利用

IGRはハエが成虫になるのを阻害する薬剤です。  
こまめな除糞が不可能な場合は、IGRの用量・  
用法に従い、ハエの繁殖場所となる場所に薬剤  
を散布し、成虫の発生を抑えます。

サシバエは暑さの収まる**9月頃から発生が増え、10月半ば頃にピークを迎えます。**  
早めの対策で、被害を軽減させましょう。

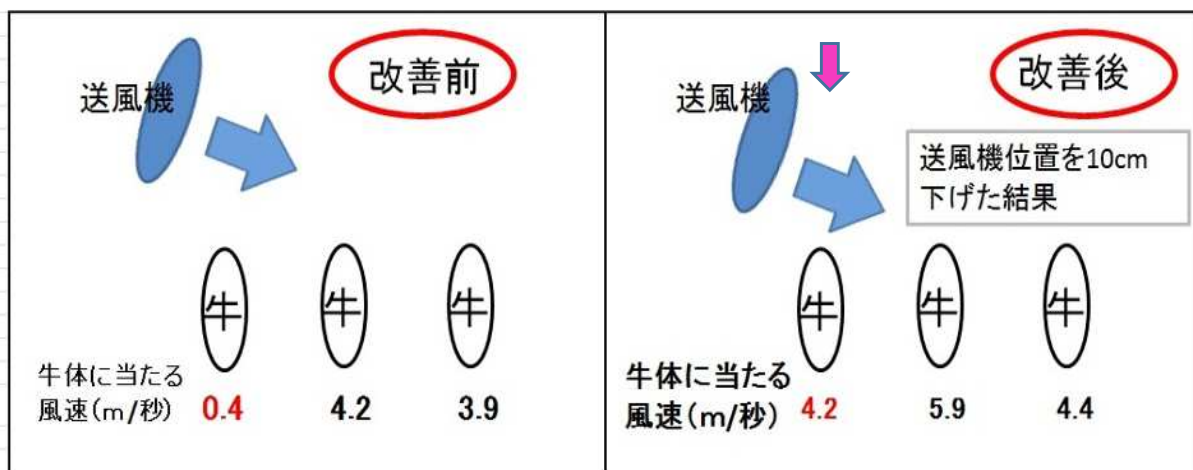
栃木県県央家畜保健衛生所

TEL 028-689-1200 FAX 028-689-1279

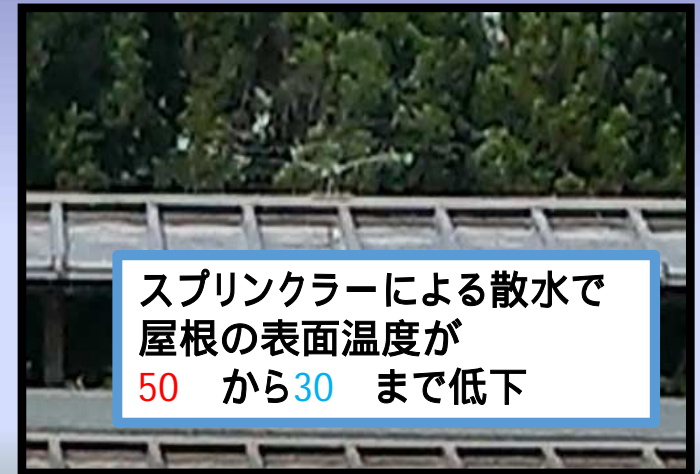
# 暑熱対策について

昨夏までに記録した各暑熱対策の評価です。今年の暑熱対策の参考にしてください。

## 事例 1 繋ぎ牛舎での牛体に当たる風の改善



## 事例 2 牛舎屋根の散水



## 事例 3 牛舎天井への断熱材の利用



## 事例 4 寒冷紗の設置



寒冷紗による遮光を実施。日向では45 でしたが、日陰では35 まで低下 (飼槽表面温度)

暑熱ストレスの軽減は、飼料摂取量と繁殖成績を改善し、1年をとおした飼養環境の改善となります。今年の夏は例年よりも暑くなるとの予報です。早めの対策で、今夏を乗り越えていきましょう！